



TOKYO 2020

大会延期に伴う大会用データネットワークサービスの契約変更について

審議事項

大会延期に伴い、通信サービスパートナーであるNTTコミュニケーションズと契約している、大会用ネットワークにおける通信サービスおよびセキュリティサービスの契約変更を行う事について審議、承認を頂きたい。

背景

- 大会用データネットワークの通信サービスおよびセキュリティサービスは、大会用データネットワークを構築・運用するために2018年10月から2020年9月末までの契約を締結している
- 本契約で提供されているサービスは大会運営だけでなく職員の業務の維持のために、切れ間なく2021年9月まで延長が必要である
- 大会延期を受け、各契約の延長についてベンダと交渉、副事務総長名でのレター発出を行い、それぞれ以下の通りの削減を行い2021年大会終了までの契約延長を行う事とした
 - データネットワーク関連業務委託（インターネット回線サービス）
 - データネットワーク関連業務委託（インターネット付加サービス1）
 - データネットワーク関連業務委託（コロケーションサービス）
 - データネットワーク関連業務委託（インターネット付加サービス2）
 - データネットワーク関連業務委託（インターネット付加サービス3）

以降、契約ごとの詳細

データネットワーク関連業務委託（インターネット回線サービス）

口方針

- 2020/3~5の利用トラフィック量が最大1.3Gbpsであり、職員の業務に影響を与えないために帯域を2Gbpsを上限としたメニューに変更（減速）する。
- 40GIFの変更（例：4GIFなど）は、接続する機器及びサービスメニューが変わる事になり、機器コストおよび既存サービスの廃止、新設コストが追加発生するため、期間トータルでコスト削減に至らないため考慮しない。
- 帯域減の期間は2020/10/1~2021/2/28（3月からはテストイベント対応があるため）とする
- 現契約を2021/9/30まで契約延長を行う

データネットワーク関連業務委託（インターネット付加サービス1）

□方針

- サービスコストから、組織委員会向けに調達した機器の費用、アクセサリ費用の一部を削減する。
- その他サービスコストの削減を検討したが、現時点で最低レベルのサービス提供メニューであり、コスト内訳が海外ベンダを含む他社へのキャッシュアウトであるため削減不可
- 大会延期に伴い、NTT Communicationsからのサービス提供を維持するために、導入機器のバージョンアップが必要となったため、最低限1回のバージョンアップを行う事とした。
- 上記費用削減を行った上で、現契約を2021/9/30まで契約延長を行う

データネットワーク関連業務委託（インターネット付加サービス2）

口方針

- サービスコストから、組織委員会向けに調達した機器の費用、アクセサリ費用の一部を削減する。
- その他サービスコストの削減を検討したが、現時点で最低レベルのサービス提供メニューであり、コスト内訳が海外ベンダを含む他社へのキャッシュアウトであるため削減不可
- 上記費用削減を行った上で、現契約を2021/9/30まで契約延長を行う

データネットワーク関連業務委託（インターネット付加サービス3）

口方針

- 本契約にはPDC、SDCの契約を含むため、それぞれ同契約内のまま変更契約を行う。
- サービスコストから、組織委員会向けに調達した機器の費用、アクセサリ費用の一部を削減する。
- その他サービスコストの削減を検討したが、現時点で最低レベルのサービス提供メニューであり、コスト内訳が海外ベンダを含む他社へのキャッシュアウトであるため削減不可
- 上記費用削減を行った上で、現契約を2021/9/30まで契約延長を行う

データネットワーク関連業務委託（コロケーションサービス）

□方針

- 固定電話用ラックについては、すでに2020/11までの契約および決裁がなされているが、契約、決裁、会計処理の統合のため2020/10からの新規決裁を行うこととし、既存決裁から重複部分（金額、期間など）を除く処理を行う
- 現契約を2021/9/30まで契約延長を行う

□対象契約

- データネットワーク関連業務委託（コロケーションサービス）
- データネットワーク関連業務委託（通信分析・監視サービス1）
- 音声ネットワーク関連業務委託（データセンタ）
- データネットワーク関連業務委託（データセンタハウジングラック追加）
- 警備用ネットワーク関連業務委託（データセンタハウジングラック追加）